

第 93 号

お茶の水女子大学学報

昭和 58 年 7 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

学 内 規 程	1
人 事	1
学 事	2
諸 報	6
海外渡航	6
海外渡航事務の取り扱いについて	6
公開講座	6
新任者住所	8
職員の住所変更	8
日 誌(抄)	8

学 内 規 程

〇お茶の水女子大学レクリエーション運営委員会内規の一部を改正する内規

お茶の水女子大学レクリエーション運営委員会内規の一部を次のように改正する。

第2条を次のように改める。

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 事務局長
- 二 各課長、入学主幹及び各事務長
- 三 各課長補佐
- 四 各事務室長

第6条第3項中「9人」を「3分の2」に改める。

附 則

この内規は、昭和58年5月20日から施行する。

人 事

〇人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
58. 6. 16		加藤 直子	文部教官(助手大学院人間文化研究科)に採用する

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(休 職)			
58. 6. 6	文部教官(助手理学部)	谷口真知子	休職の期間を昭和58年12月5日まで更新する
(辞 職)			
58. 6. 30	文部技官(施設課)	田村 正規	辞職を承認する

◎非常勤講師

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
58. 5. 1		岡部 玲子	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		小池美佐子	〃
〃		安部井 徹	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和58年9月30日までとする
58. 5. 6		池上八寸夫	講師(附属小学校)に採用する 任期は昭和58年6月10日までとする
58. 5. 16		佐藤完児郎	講師(附属中学校)に採用する 任期は昭和58年7月31日までとする
〃		〃	講師(附属高等学校)に採用する 任期は昭和58年7月31日までとする
58. 6. 1		山本 啓一	講師(理学部)に採用する 任期は昭和58年6月30日までとする
〃		津守 真	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする

◎非常勤職員

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
58. 5. 1		斎藤 雅美	見習員(庶務課)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		加藤 直子	事務補佐員(女性文化資料館)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		藤山 和子	事務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
58. 5. 1		高木 里実	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		三原みどり	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和58年9月30日までとする
〃		槽谷 節子	〃
〃		平井 良行	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和58年9月30日までとする
〃		安藤 洋子	〃
〃		神埜 正子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		堤 貴美子	〃
〃		堀口 雅子	学校医(保健管理センター)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
58. 5. 16		森下みさ子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
58. 6. 1		森田 朋子	事務補佐員(学生課)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
(辞 職)			
58. 5. 15	事務補佐員(入学主幹付)	高橋 正明	辞職を承認する
58. 5. 31	事務補佐員(会計課)	高島由貴子	〃
〃	教務補佐員(家政学部)	天川 由美	〃
58. 6. 15	事務補佐員(女性文化資料館)	加藤 直子	〃
58. 6. 30	教務補佐員(文教育学部)	大宮里麻子	〃

学 事

○昭和59年度 お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程学生募集要項

1. 出 願 資 格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び昭和59年3月卒業見込の者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試 験 科 目	専攻名	募集人員	試験日時	試 験 科 目
数 学	10 名	9月13日(火) 9:20~10:50	一般・基礎教育科目 (微積分・代数と幾何・ 位相空間)	物理学	10 名	9月13日(火) 9:20~10:50	一般・基礎教育科目 (物理学)
		11:00~12:30	外国語(英・独・仏・ 露のうちから2カ国語 を選択)			11:00~12:30	外国語(英・独・仏・ 露のうちから2カ国語 を選択)
		13:30~15:30	専門科目(数学)			13:30~15:30	専門科目(物理学)
		16:30~	口述試験			16:30~	口述試験

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目	専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
化学	10名	9月12日(月) 10:30~12:00	一般・基礎教育科目 ※ (化学及び「物理学又は生物学」)	生物学	10名	9月13日(火) 10:00~12:00	外国語(英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択)
		13:00~16:00	専門科目(化学)			13:00~16:00	専門科目(生物学)
		9月13日(火) 10:00~12:00	外国語(英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択)			16:30~	口述試験
		13:30~	口述試験				

※物理学又は生物学のうち1科目を選択すること。

ただし、志望区分「化A」「化F」志望者は第1志望、第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

4. 出願期間

昭和58年8月30日(火)から9月6日(火)まで。

郵送する場合は、必ず書留として「大学院入学願書」と朱書し、9月6日(火)までに必着のこと。

5. 出願手続

(1) 願書受付

- ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
電話：東京(03) 943-3151(大代表)
- イ 時間 平日は午前9時から午後3時まで
土曜日は午前9時から11時30分まで

(2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)
- イ 卒業(又は見込)証明書
- ウ 健康診断書(本学所定の用紙)
- エ 調査書(本学所定の用紙)
- オ 検定料 16,000円 現金又は郵便為替
- カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。(様式随意)
- キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、60円切手をはった定形郵便物用封筒を同封する。

6. 合格者の発表

- (1) 9月22日(木)正午の予定。理学部1号館内公示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、昭和59年3月中旬に送付する。

7. 修了の条件及び学費

- (1) 修業年限は2年以上とする。
- (2) 総計30単位以上修得すること。
- (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。
- (4) 入学科 120,000円、授業料 年額 216,000円

8. その他

- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、70円切手をはった定形郵便物用封筒(23.5cm×12cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記

すること。

9. 第2次募集

実施の有無については合格発表の日に公示する。

10. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分

地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩 約5分

○ 昭和59年度 お茶の水女子大学大学院家政学研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名及び募集人員

専 攻 名	募 集 人 員
児 童 学 専 攻	8
食 物 学 専 攻	10
被 服 学 専 攻	8
家 庭 経 営 学 専 攻	6

2. 修 業 年 限 2年

3. 出 願 資 格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者(昭和59年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

4. 選 考 方 法 入学者の選考は、筆記試験、口述試験及び調査書等を総合して決定する。

5. 出 願 手 続

- (1) 入学願書・写真票及び受験票 用紙は本学で交付
- (2) 卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3) 推 薦 書 指導教官又は主任教官等により作成されたもの(形式随意、用紙はB5版縦長横書とする。)
- (4) 調 査 書 用紙は本学で交付
- (5) 健康診断証明書 用紙は本学で交付
- (6) 写 真 正面上半身の名刺型で出願前3か月以内に撮影したもの(本学から交付する写真票及び受験票に貼付)
- (7) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料を添えて所定の期日までに本学に提出すること。

郵送の場合は、必ず書留郵便(メ切日の消印有効)とし「大学院家政学研究科入学願書在中」と朱書すること。

検定料(16,000円)は郵便為替とし、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ記入して同封すること。また、返信用封筒(あて先を表記し60円切手を貼付)を同封すること。

6. 出願期間・選考期日・願書受付場所

専攻名	第 1 次 募 集		第 2 次 募 集		備 考
	出 願 期 間	選 考 期 日	出 願 期 間	選 考 期 日	
児童学専攻	昭和58年9月20日(火)	昭和58年	昭和59年1月17日(火)	昭和59年	各専攻で第1次募集の合格者が定員に満たない場合には第2次募集を行うことがある。
食物学専攻	}		}		
被服学専攻	昭和58年9月26日(月)	10月12日(水)	昭和59年1月23日(月)	2月1日(水)	
家庭経営学専攻					

- (1) 受付時間 平日 午前9時～午前11時30分 午後1時～午後3時30分
土曜日 午前9時～午前11時30分
- (2) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 電話 (03) 943-3151 (大代表)
本学家政学部事務部
(都バス大塚2丁目又は地下鉄茗荷谷・地下鉄護国寺下車)

7. 日時割及び試験場所

(1) 筆記試験・口述試験

専 攻 名	筆 記 試 験		口述試験 16:10～
	外 国 語 9:30～11:00	専 門 科 目 11:15～12:00 13:00～16:00	
児 童 学 専 攻	第一外国語 (英・独・仏 の内一)	児(第一以外 の外国語で 外国語科目 に入ってい るもの)	口述試験 は専攻 (学士論 文のある ものは学 士論文を 含む。)に ついて行 う。
食 物 学 専 攻		(1)児童学(発達・保健・臨床・福祉・保育) (2)論 文	
被服学		(1)一般化学 (2)栄養学・食品学・食品貯蔵学・調理学	
被服学を主 とするもの		(1)一般化学(無機・有機・物理化学) (2)被服材料学(繊維化学を含む)・被服整理 学(染色化学を含む) (3)論 文	
被服美学・被 服構成学を主 とするもの	第二外国語	食・被・家経 (英・独・仏 の内第一以 外のもの)	
家庭経営学専攻		(1)服飾美学(服飾史を含む)・被服構成学の いずれか1科目 (2)論 文 (1)家政学原論・家庭経済学・家族関係学 (2)論 文	

- イ. 第二外国語の内容は専門に関連するもので受験に際しては辞書を携行して差支えない。
- ロ. 家庭経営学専攻志願者は、①大学院入学後の研究計画及び②卒業研究要旨又はこれにかわるものを各1,000字以内にまとめて当日持参すること。
- ハ. 被服学専攻志願者のみ、選択科目名を入学願書及び写真票に記入すること。
- (2) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

8. 検定料・入学料及び授業料 検定料 16,000円 入学料 120,000円 授業料(年間) 216,000円

9. 合格者発表

第1次募集で合格した者には昭和58年10月20日(木)、第2次募集を行った場合は昭和59年2月9日(木)頃本人に通知するとともに学内にその氏名を掲示する。

10. 健康診断

健康診断は健康診断書による。この診断書による検査の結果、本学において更に必要を認めた者に対しては

診断を行う。

11. 注 意 事 項

- (1) 出願書類等の請求又は照会のあて先はすべて本学「家政学部事務部」とし返信用封筒（あて先を表記し70円切手を貼付）を同封すること。
- (2) 出願手続後の書類変更や検定料の払いもどしはできない。
- (3) 第2次募集実施の有無は第1次の合格発表と同時に発表する。

諸 報

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
家政学部 助 教 授	原 ひ ろ 子	大韓民国	韓国淑明女子大学での講演のため及び韓国における婦人問題研究の実情視察のため	58.5.3～ 58.5.8	研 修
理 学 部 助 手	鈴 木 正 継	フランス共和国 ドイツ連邦共和国	第3回グラフィイト国際会議出席及び講演・討論のため	58.5.20～ 58.6.3	〃
生活環境研究センター 教 授	福 場 博 保	台 湾	中華民国食品科学技術学会及び食品工業研究及開発研究所でのセミナー出席及び研究用試料収集のため	58.6.19～ 58.6.24	〃

○海外渡航事務の取り扱いについて

このことについて昭和58年5月27日付け文人審第113号をもって文部省大臣官房人事課長から学長あて下記のとおり通知がありましたので、お知らせします。

記

従来、国家公務員が海外に渡航する場合で一般旅券の発給申請をしようとする場合には所属省庁の長の海外渡航承認書が必要とされていましたが、このたび昭和45年外務省告示第234号が改正され、本年5月1日以降に一般旅券の発給を申請するものについては、この承認書の提出を要しないことになりました。

なお、今回の外務省告示の改正は、国家公務員が海外に渡航しようとする場合に所属省庁の長の承認を必要とすること自体を変更するものではないので、この

趣旨を理解されるとともに次の事項に御留意の上遺漏のないようお取り計らい願います。

1. 職員が海外に渡航しようとする場合には、従前どおり、昭和43年6月8日付け文人総第96号（海外渡航事務の取扱いについて）及び昭和47年4月15日付け文人総第77号（海外渡航事務の取扱いについて）に基づき事前に文部大臣又は機関の長の承認を受けなければならないこと。
2. 一般旅券発給申請に当たって海外渡航承認書の提出を要しないとされたことから、職員が文部大臣又は機関の長の承認を受けずに海外に渡航する場合が生じ得ることに鑑み、従前にまして関係職員に対して事前の承認を得よう指導の徹底を図ること。

（注）海外渡航承認書は従来どおり発行します。

○昭和58年度 お茶の水女子大学公開講座募集要項

1. 講 座 名 「かかわり」

2. 講座のねらい

人間を含めて、すべてのものは、なにひとつとして、単独には存在しえない。われわれのまわりのさまざまな事象が他との間において結ぶもろもろの関係を、ゆるやかに“かかわり”としてとらえ、人文、自然、社会各

分野の講師が、それぞれの持ち味を生かしながら、“かかわり”のあり方と形を考える。

本講座によって、受講者は、未知の、あるいは身近にありながら見落している問題を、関係という角度から切り込む知的刺激を存分に経験することができるはずである。

3. 日程及び学習内容

(前半) 午後1:30～3:00 (後半) 午後3:10～4:40

実施日時	学習課題	学習方法	講師名
9月10日(土) 午後1:30～4:40	かかわり	挨拶	お茶の水女子大学長 藤巻正生
		講義	文教育学部教授 外山滋比古
9月17日(土) 午後1:30～4:40	人間と言語	〃	文教育学部講師 寺津典子
	人と人のかかわり	〃	家政学部助教授 黒田淑子
9月24日(土) 午後1:30～4:40	音楽における人と人、 人と物とのかかわり	〃	文教育学部教授 徳丸吉彦
	漱石の文学を通して考える	〃	文教育学部教授 浅井清
10月1日(土) 午後1:30～4:40	異文化間の関り	〃	理学部教授 松田千鶴子
	自然法則における 因果性と偶然性	〃	文教育学部教授 高木きよ子
10月8日(土) 午後1:30～4:40	ひととその 生れ育った文化との関り	〃	家政学部助教授 原ひろ子
	たべものと健康とのかかわり	〃	生活環境研究センター教授 福岡博保
10月15日(土) 午後1:30～4:40	食と文化— 特に発酵食品の立場から	〃	家政学部教授 相田浩
	医師と患者	〃	保健管理センター教授 奥野剛
10月22日(土) 午後1:30～4:40	芸術と生 (フランク・カフカの場合)	〃	文教育学部助教授 石丸昭二
	生物に見るかかわり	〃	理学部教授 清水碩
10月29日(土) 午後1:30～4:40	歴史のなかで	〃	文教育学部教授 大口勇次郎
	化学の言葉	〃	理学部教授 曾根興三

4. 受講資格 社会人を対象とし、学歴、資格、性別を問いません。

5. 募集人員 250名

6. 受講料 2,500円

7. 会場 お茶の水女子大学 一般教育2号館

8. 申込方法 受講申込書並びに受講料を添えて、本学学生部公開講座担当掛にお申し込みください。(電話・郵送による申込みはご遠慮ください。)

ただし、人数に制限がありますので、先着順で満員になり次第締切ります。

9. 受付期間 昭和58年8月22日(月)～昭和58年8月26日(金) 10時～12時、13時～15時
10. 修了証書 全講義中6日以上出席された方に差し上げます。
11. 大学所在地案内

文京区大塚2-1-1 TEL. (943) 3151 (代表)

地下鉄 丸の内線茗荷谷駅下車徒歩5分

〃 有楽町線護国寺駅 〃 〃

国鉄 大塚駅から都営バス(塚20番)大塚駅前→大塚2丁目停留所前

〃 池袋駅から都営バス(渠67番)池袋駅前→ 〃

○新任者住所

○職員の住所変更

・入試担当課長会議(於東京医科歯科大学)

14日(土) 教務委員会

16日(月) 部局長会議、名誉教授称号授与式、懇談会、昭和58年度大学入学者選抜共通1次学力試験実施担当者会議・昭和58年度大学入学者選抜教務関係事項連絡協議会(於久保講堂)

17日(火) 日本育英会奨学生選考委員会(院生)

18日(水) 研究科委員会(理学・家政学)、各学部教授会

19日(木) 昭和58年度文部省共済組合全国主管課長会議(於国立科学博物館)

20日(金) 入学者選抜方法研究委員会、附属学校教育研究委員会、レクリエーション運営委員会

23日(月) 国立大学事務局長会議(於国立教育会館)

24日(火) 部局長会議、評議会、学生会館運営委員会、学寮委員会、学寮協議会、国立大学附属図書館事務部課長会議(於東京医科歯科大学)

25日(水) 極低温実験室運営委員会、R I 実験室運営委員会

26日(木) 留学生顧問教官会議、一般教育委員会、昭和58年度国立大学等経理部課長会議(26日・27日:於東京医科歯科大学)

31日(火) 開学記念事業開催日、昭和58年度国立大学学生部次長・課長・国立高専学生課長会議(於東京医科歯科大学)

6月1日(水) 将来構想検討委員会、学生定期健康診断(1日～3日)、昭和58年度施

日 誌 (抄)

5月9日(月) 臨時関東甲信越地区国立大学会計部課長会議(於東京大学)、入学者選抜研究連絡協議会(於浦和ときわ会館)

11日(水) 国立7大学理学部事務長会議(於熊本大学)

12日(木) 留学生顧問教官会議、日本育英会奨学生事務協議会(於日本育英会)、第44回国立7大学理学部長会議(12日・13日:於熊本大学)

13日(金) 第28回東京地区国公立大学入学主幹

- 設担当部課長會議（1日・2日：於東京農林年金會館）、国立大学入学者選抜研究連絡協議会第4回大会（1日～3日：於野口英世記念館）
- 3日（金） 事務連絡會議、レクリエーション運営委員會、教育実習専門委員會、臨海実験所運営委員會
- 6日（月） 入学者選抜方法研究委員會
- 7日（火） 部局長會議、予算委員會、百年史刊行委員會、日本育英会奨学生選考委員會（学部生）、国立学校及び所轄機関庶務部課長會議（7日・8日：於東京医科歯科大学）、外国人留学生歌舞伎鑑賞教室觀劇（於国立劇場）
- 8日（水） 研究科委員會（理学・家政学）、各学部教授会
- 9日（木） 昭和58年度国立大学一般教育担当部局協議会（9日・10日：於横浜国立大学）、国立大学図書館協議会（9日・10日：於北海道厚生年金會館）
- 11日（土） 一般教育学会（11日・12日：於千葉大学）
- 13日（月） 施設計画委員會、公開講座委員會、生活環境研究センター運営委員會、附属学校委員會
- 14日（火） 部局長會議、評議會、外国人留学生懇談会
- 15日（水） 教育実習説明会（3年生対象）、入試委員會、附属図書館運営委員會、女性文化資料館運営委員會
- 16日（木） 留学生顧問教育會議、国立大学入学主幹連絡協議会（16日・17日：於名古屋大学）
- 21日（火） 学生委員會、学寮委員會、学寮協議会、国立大学協會総会（21日・22日：於国立教育會館）
- 22日（水） 大学院人間文化研究科會議、教務委員會
- 23日（木） 国立大学長會議（於国立教育會館）
- 24日（金） 昭和58年度留学生交流研究協議会（24日・25日：於筑波大学）、国立大学協會事務連絡會議（於国立教育會館）
- 28日（火） 關東C地区国立学校事務用電算機共同利用協議会（於東京工業大学）
- 29日（水） 将来構想検討委員會、廢水管理委員會、学生定期健康診断（第2次）
- 30日（木） 一般教育委員會